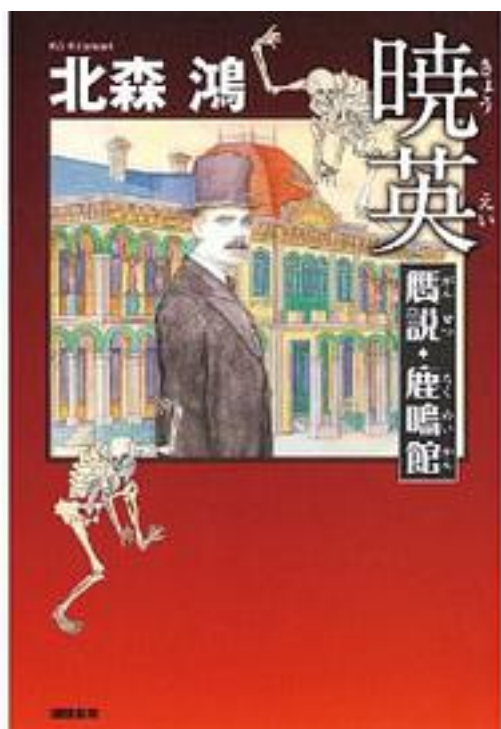


暁英 鷹説・鹿鳴館



[暁英 鷹説・鹿鳴館 下载链接1](#)

著者:北森鴻

出版者:徳間書店

出版时间:2010-4

装帧:单行本

isbn:9784198629342

作家の津島好一は、進まぬ筆に悩んでいた。新作のテーマは、鹿鳴館―誰もがその名を知っている建築物。調べてみると資料が極端に少なく、設計図さえまともに残っていない。鹿鳴館は謎に包まれたまま建造され、その謎をまとったまま歴史から消えた建物と言えようか。しかし津島は、ある人物との邂逅をきっかけに、堰を切ったように物語を紡ぎ出し始める。明治十年、日本政府に雇い入れられた若き英国人建築家一のちの鹿鳴館建造担当者―ジョサイア・コンドルは、横浜港に降り立ち、外務卿井上馨らと対面する。工部大学校造家学科教授兼工部省宮繕局顧問としてのコンドルの多忙な日々が始まった。日本趣味の昂じたコンドルは画家河鍋暁斎に弟子入りし、「暁英」という雅号をもらう。一方でコンドルは、来日の仲介をした国際商社ジャーデン

・マセソン社から、ある密命を帯びていた。それは、銀座煉瓦街の設計を担当した後、に忽然と姿を消した、ウォートルスというアイルランド人建築技術者の消息を調べることだった。コンドルはやがて、時代が大きく動く際に必然的に生じる、濃くて深い闇の中に、自分が足を踏み入れてしまったことを知る一。鹿鳴館とは、何だったのか。そして明治とは、果たして何だったのか。

作者介绍:

北森鸿（1961年11月15日 - 2010年1月25日），本名新道研治。日本推理小说家，文物和民俗学专家。本格推理作家俱乐部监事（会计师、审计师）。除了《狂乱二十四孝》、《春日花下死》两部代表作外，北森鸿尚有以《凶笑面》为首的“民俗学家莲丈那智系列”、以《狐的圈套》（狐罟）为首的“旗师冬狐堂系列”以及非系列作《孔雀狂想曲》。曾经荣获奖项：鲇川哲也奖、日本推理作家协会奖、江戸川乱歩奖

目录:

[晓英 鷹説・鹿鳴館_下载链接1_](#)

标签

推理

类型文学

日本文学

日本

日文

小说

原版

评论

看原版可能会好些吧

绝笔。北森老师您怎么就死了呢QAQ（捂心口

[晓英 鷹説・鹿鳴館 下载链接1](#)

书评

关于作者身后留下未能完结的经典作品，最著名的大概要数曹雪芹的《红楼梦》了。于八十回戛然而止，引发一众文人竞相添续。而在推理小说的领域，最有名的例子可能是英国小说家查尔斯·狄更斯的《德鲁德疑案》。尽管有传闻称狄更斯曾向上帝祈求让自己完成这本充满哥特气息的...

陆秋槎在他的新书《元年春之祭》的发布会上，曾以“马，有必要长角吗？”这个看似荒诞的问题，讨论本格推理与加诸其上的其他期待的关系。陆秋槎是作者，故而他从推理文学发展的历史，或者说，站在当代推理作家的立场发言，自然有他的精妙之处。然而对于读者，则这个问题...

这本书和绫辻行人的馆系列不同，中村青司的十角馆、黑暗馆这些都是小说杜撰出来的，可鹿鸣馆是历史上确有存在的。鹿鸣馆是日本明治时代的传奇建筑，很多人听说过这三个字，它也在很多日本影视剧中出现过，但大家在影像中见到的所谓真身也只不过是后来人根据想象猜测复原的，那...

北森鸿，一个并不太被国内读者熟悉的推理作家。但作为文物和民俗学专家，北森鸿成为了日本推理流派中民俗推理这一分支的领军人物。民俗推理是指将日本传统文化和历史风俗融入推理作品中，与之类似的流派有旅行推理等。
本书的背景放在了日本最激荡的年代：明治维新时代。作为...

一座建筑背后的真正历史-评《晓英・鴈说・鹿鸣馆》文/信实的精灵
书的封皮上赫然印着“一代大师的最后绝唱。无论生来还是往去
此书注定是一个传奇”，对于此书的作者而言，对于日本的鹿鸣馆来说，这本书...

[晓英 鴈说・鹿鳴館 下载链接1](#)